

資料

第2期末更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

目 次

I 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証	1
II 基本目標ごとの検証	6
基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	8
(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	
-①結婚・出産に対する支援	9
-②子育て支援の充実	10
(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり	
-①ワーク・ライフ・バランスの促進	11
-②子育て世代の経済的自立支援	12
(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実	
-①「木更津っ子」を育む教育の充実	13
基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	14
(1) 農林水産業の成長産業化への支援	
-①有機農業や地産地消の促進	15
-②食育の推進	16
-③新規就農の促進	17
-④有害鳥獣対策の強化	17
-⑤農林水産業の六次産業化・ブランド化に対する支援	18
-⑥水産業の持続的発展に向けた支援	18
(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援	
-①産業・創業に対する包括的な支援	19
-②中小企業等の持続的成長に対する支援	20
-③電子地域通貨「アクアコイン」を活用した地域経済 活性化の推進	21
(3) 企業誘致の推進	
-①立地特性を活かした産業集積・企業誘致の推進	22
(4) 観光産業の競争力強化	
-①地域資源を活かした観光振興	23
(5) 安定した雇用の確保	
-①地元企業と求職者のマッチング支援	24

基本目標3	自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした安住・交流を促進する	25
(1)	多様なライフスタイルがかなう安住の促進	26
	－①街なか・農村への定住の促進	26
(2)	快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成	27
	－①みなとまち木更津の再生	27
	－②交通ネットワークの強化	28
(3)	木更津の様々な魅力の情報発信の強化	29
	－①地域ブランドの構築	29
	－②魅力発信力の強化	30
(4)	アクアラインを活かした交流人口の創出	31
	－①観光客の回遊性向上	31
	－②外国人観光客の誘致	32
	－③国際交流・国際理解の推進	32
(5)	多様な地域資源を活かした関係人口の創出	33
	－①都市と農村漁村の関わり方強化	33
基本目標4	市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	34
(1)	市民力・地域力による自立した地域づくり	35
	－①協働によるまちづくりの推進	35
(2)	生物多様性を育む自然との共生	36
	－①自然環境や里山・里海の保全	36
	－②地球温暖化対策の推進	36
(3)	生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	37
	－①健康寿命の延伸	37
	－②スポーツ・生涯学習による地域づくり	38
(4)	ふるさと木更津づくり	39
	－①歴史・文化教育の充実	39
(5)	安心で暮らしやすい防災都市づくり	40
	－①地域防災の体制強化	40
(6)	多様な主体との連携推進	41
	－①大学や高専等との連携による地域づくり	41
	－②広域連携の推進	41

Ⅲ 地域再生計画認定事業に係る令和3年度の実施効果検証

I.

第2期末更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、地方創生の推進に向けた政策分野を定め、その基本目標や施策の基本的方向性、具体的な施策を示したもので、令和2年度から令和4年度までの3か年の計画として策定しました。総合戦略の推進にあたっては、実効性を高めるため、4つの基本目標に対する数値目標を設定するとともに、具体施策ごとの重要業績評価指標（KPI）や国の交付金対象事業についてもKPIを設定し、これらの数値目標や施策のKPI等の実績の把握を通じ、毎年度終了後、施策等成果の検証や検証結果を踏まえた見直しを行っております。

1 対象

総合戦略に位置づけた4つの基本目標に係る具体的な35の施策

2 検証内容

令和3年度末のKPI等の実績値を把握するとともに、取組内容について評価し、実績値を踏まえた今後の取組方針等について検討を行いました。

3 4つの基本目標の総評について

(1) 基本目標1「地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む」

結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行えるよう、子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」を拠点として、新たに訪問型の産後ケアを開始し、利用者の拡充を図ることで働きながら産み育てやすい環境づくりに努めました。

また、民間保育園に対し、施設整備や職員給与の改善を図るための支援を行うことで、待機児童の解消に努めました。

さらに、教職員のICT活用指導力の向上を図り、ICTを活用した学習活動を推進するなど教育環境の整備を推進しました。

(2) 基本目標2「多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる」

電子地域通貨「アクアコイン」の普及促進や産業・創業支援センター「らぶーBiz」による地元中小企業・小規模事業者の売上増進に向けた伴走型支援の推進、また、中小企業のニーズに対応した融資制度を継続することで資金や資源の循環を図るとともに、企業誘致や雇用の創出に取り組みました。

また、観光地域づくり法人「きさらづDMO」が行う里山・里海を活用し、ウィズコロナ・ポストコロナに対応したツアー商品の造成・販売に対して、連携・支援に取り組みました。

さらに、地産地消の促進や食育の推進、また、漁業関係機関との連携・支援により、地域の農林水産業の活性化に取り組みました。

(3) 基本目標3「自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する」

木更津駅周辺において、街なか居住マンション建設への補助や取得助成により、土地利用の共同化・高度化に取り組み、移住・定住を促進するほか、地域資源を活かした街なかの賑わい創出を推進しました。

また、YouTubeやFacebook等の媒体を通じ、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、本市の様々な魅力の情報発信に努めました。

さらに、観光地域づくり法人「きさらづDMO」と連携を図り、PR活動や新たな観光資源の創出を行い、観光客の誘致に取り組みました。

(4) 基本目標4「市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する」

地区まちづくり協議会を促進するとともに、協議会への財政的・人的支援を行い、地域自治の充実、協働のまちづくりを推進しました。

また、地域における共助の意識醸成を図るため、自主防災組織を新たに12か所設立し、地域の防災力を高めるとともに、公民館における市民活動を推進することにより、市民力・地域力の向上に努めました。

本戦略は、来るべき人口減少社会を見据え、将来にわたって活力溢れる持続可能なまちの創造に向けて、地域一体となって取組を進めることを目的としております。

令和4年度は、総合戦略の計画期間の最終年度となることから、引き続き4つの目標の達成に向けて各取組のより一層の充実と強化を図りながら施策や事業を展開してまいります。

4. 達成結果

(1) 数値目標の結果

基本目標	数値目標	総合戦略策定時の現状値	実績値 (R3年度)	目標値 (R4年度)	達成度
1	出生数	813人 (R2.1.31時点)	948人	1,163人	81.5%
	幼年期(0歳~4歳)の人口社会増	37人 (R2.1.31時点)	98人	230人	42.6%
2	「らぶ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数	20件 (R2.1.31時点)	7件	25件	28.0%
3	人口の社会増	612人 (R2.1.31時点)	721人	1,050人	68.7%
	大規模集客施設を除く年間観光入込客数	893千人 (R2.1.31時点)	1,022千人	1,100千人	92.9%
4	地区まちづくり協議会設置割合	53% (R2.1.31時点)	86%	100%	86.7%
	自主防災組織活動カバー率	49.8% (R2.1.31時点)	53.1%	70%	75.9%

(2) 重要業績評価指標(KPI)の結果

基本目標	KPI数	達成状況			
		達成	80%以上	60~79%	60%未満
1	10	0	6	1	3
2	22	6	3	2	11
3	18	5	2	2	9
4	19	5	4	1	9
計	69	16	15	6	32

達成状況

達成
80%以上
60~79%
60%未満

(3) 重要業績評価指標（KPI）の見直し・変更概要

○令和3年度実績が目標値を達成した指標（14指標）

頁数	指標	変更の有無	現目標値	新目標値	事由
15	道の駅「木更津うまかつの里」における市内農産物取扱高	有	18,000万円	20,000万円	令和3年度実績が目標値を達成したため。
16	学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合	有	41.0%	45.0%	令和3年度実績が目標値を達成したため。
17	認定新規就農者数	有	9人	10人	令和3年度実績が目標値を達成したため。
18	アサリの年間生産量	有	25 t	140 t	生産量の変動が大きく、動向が読めないため、令和3年度実績を目標値とする。
24	中高年・シニア向け就労支援セミナー参加者数	有	30人	50人	令和3年度実績が目標値を達成したため。
26	木更津駅周辺において、土地利用の共同化・高度化がなされた面積【令和元年度からの累計】	無	0.5ha	—	新たに令和4年度から民間事業者がマンション建設の調査設計に着手し、令和6年度に竣工予定であるため、目標値の変更は行わない。
27	中心市街地内の人口社会増	無	162人	—	木更津市中心市街地活性化計画との整合性を図るため、目標値は変更しない。
29	オーガニックアクション宣言企業認定数【H30年度からの累計】	有	70件	80件	令和3年度実績が目標値を達成したため。
29	景観形成重点地区の指定件数	無	1件	—	重点地区の施行は令和4年6月1日からであり、今後、富士見通りの動向を見て、他の候補地を検討するため。
30	らづナビダウンロード数【H30年度からの累計】	有	20,000件	25,000件	令和3年度実績が目標値を達成したため。
36	干潟クリーン作戦の参加人数	有	350人	400人	令和3年度実績が目標値を達成したため。
38	公民館での地域課題に関する講座の参加者数	有	900人	1,800人	令和3年度実績が目標値を達成したため。
39	本市の歴史や文化に関する公開講座参加者数	有	300人	500人	令和3年度実績が目標値を達成したため。
40	総合防災訓練参加地区の割合	有	50.00%	70.00%	令和3年度実績が目標値を達成したため。

○事情により目標値を変更する指標

頁数	指標	変更の有無	現目標値	新目標値	事由
36	温室効果ガス排出量	有	11,500 t-CO2	9,400 t-CO2	令和元年度から市の水道事業をかずさ水道広域連合企業団が担うことになり、同事業の排出量を市役所の排出量の算定から除いたことにより、目標値を見直した。

Ⅱ.

基本目標ごとの検証

記載内容について

総合戦略では施策体系として、4つの基本目標、基本的方向、具体的な施策を設定しています。

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

ページ数は総合戦略冊子のページ数を表しています。

数値目標(P. 7)

R3(実績値)については、基本的に令和3年度末の実績値を記載しています。目標値(R4年度)については、総合戦略を策定した際に設定した令和4年度末の目標値を記載していますが、目標を達成し、修正を行った施策は修正した数値を反映してあります。

目標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①出生数	962人 (R2.3.31)	952人 (R3.3.31)	948人 (R4.3.31)		1,163人
②幼年期(0歳～4歳)の人口社会増	37人 (R2.3.31)	48人 (R3.3.31)	98人 (R4.3.31)		230人

取組の評価	<p>妊娠中支援が必要な妊婦全員に対して支援のアプローチを行い、支援ができなかった方に対しては新生児訪問においてフォローを行いました。また、訪問型の産後ケアを開始し、利用者の対象を拡充しました。また、保育士不足を解消し待機児童数を減らすため、民間保育園の職員給与改善事業による助成金支援を行ったほか、新規保育施設の創設や改築により受入児童数の増加を図りました。働きながら産み育てやすい環境づくりとして、市職員に対して男女共同参画推進を図る研修を開催し意識啓発に努めたほか、子育て中の方を対象とした就労支援セミナーを開催しました。未来を担う子どもたちを安心して産み、充実した支援のもと育てられる環境の整備に努めたことで、出生数はほぼ横ばいであったものの、幼年期人口が社会増となりました。</p>
-------	--

今後の方針	<p>子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」を拠点として、結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行うため、産後のメンタル不調を早期に発見し支援する「産婦健康診査」や「産前産後・家事育児サポート事業」を開始し、要支援産婦の早期把握・早期支援や家事育児の支援により産前産後の子育て家庭の負担軽減を図ることで、安心して子育てできる環境を整えられるよう努めます。さらに、若年者やワーク・ライフ・バランス等をテーマとしたさまざまなセミナー等の開催を通じて、子育て世代の起業や就労の支援を行ってまいります。さらに、教職員のICT活用指導力を底上げし、プログラミング教育をはじめとするICTを活用した学習指導を推進し、未来を担う子どもたちが充実した学習環境で学べるよう努めます。</p>
-------	---

取組の評価については、令和3年度の実績値に関する取組の評価を記載しています。今後の方針については、実績値を踏まえて、目標値を達成するための今後の方針を記載しています。

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む					
数値目標(P. 7)					
目標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①出生数	962人 (R2.3.31)	952人 (R3.3.31)	948人 (R4.3.31)		1,163人
②幼年期(0歳～4歳)の人口社会増	37人 (R2.3.31)	48人 (R3.3.31)	98人 (R4.3.31)		230人
取組 の評価	<p>妊娠中支援が必要な妊婦全員に対して支援のアプローチを行い、支援ができなかった方に対しては新生児訪問においてフォローを行いました。また、訪問型の産後ケアを開始し、利用者の対象を拡充しました。</p> <p>また、保育士不足を解消し待機児童数を減らすため、民間保育園の職員給与改善事業による助成金支援を行ったほか、新規保育施設の創設や改築により受入児童数の増加を図りました。</p> <p>働きながら産み育てやすい環境づくりとして、市職員に対して男女共同参画推進を図る研修を開催し意識啓発に努めたほか、子育て中の方を対象とした就労支援セミナーを開催しました。</p> <p>未来を担う子どもたちを安心して産み、充実した支援のもと育てられる環境の整備に努めたことで、出生数はほぼ横ばいであったものの、幼年期人口が社会増となりました。</p>				
今後 の方針	<p>子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」を拠点として、結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行うため、産後のメンタル不調を早期に発見し支援する「産婦健康診査」や「産前産後・家事育児サポート事業」を開始し、要支援産婦の早期把握・早期支援や家事育児の支援により産前産後の子育て家庭の負担軽減を図ることで、安心して子育てできる環境を整えられるよう努めます。</p> <p>さらに、若年者やワーク・ライフ・バランス等をテーマとしたさまざまなセミナー等の開催を通じて、子育て世代の起業や就労の支援を行ってまいります。</p> <p>さらに、教職員のICT活用指導力を底上げし、プログラミング教育をはじめとするICTを活用した学習指導を推進し、未来を担う子どもたちが充実した学習環境で学べるよう努めます。</p>				

基本的方向(1)結婚・出産・子育ての切れ目のない支援

具体的な施策① 結婚・出産に対する支援(P. 9)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①妊婦個別指導実施率	94.0% (R2.3.31)	92.6% (R3.3.31)	87.5% (R4.3.31)		90.0%
②この地域で子育てしたいと思う人の割合	94.2% (R2.3.31)	94.2% (R3.3.31)	93.6% (R4.3.31)		95.0%
取組 の評価	指標①	令和3年度の妊娠届出者数1026名のうち、妊娠中支援の必要な妊婦(要支援妊婦)は304名で、令和3年度中に支援した妊婦は266名でした。要支援妊婦全員に対して支援のアプローチを行いました。電話が繋がらず、支援が難しかった方に対しては、新生児訪問において丁寧にフォローしました。			
	指標②	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療機関におけるマタニティ教室の中止等から、妊娠・出産に対する知識、情報の不足などによる妊婦の不安が増大していたため、プレママ講座を1回から2回を1コースとし、内容の充実を図りました。 また、訪問型の産後ケアを開始し、利用者の対象を拡充しました。自宅訪問によるケア展開が可能となったことで、外出が困難な状況にある方も受けやすくなりました。			
今後 の方針	指標①	引き続き、妊娠届出時に充実した保健指導が展開できるよう、母子保健コーディネーターの研修会を年2回開催し、さらなる質の向上に努めます。			
	指標②	新たな子育て支援サービスとして、令和4年度から「産婦健康診査」を開始し、併せて健診費用の助成を行い、受診率の向上を図るとともに、要支援産婦を早期に把握し、支援を展開してまいります。 また、「産前産後・家事育児サポート事業」を開始し、家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児の支援をすることで、産前産後の子育て家庭の負担軽減を図り、安心して子育てできる環境を整えるよう努めます。			

具体的な施策② 子育て支援の充実(P. 10)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①保育園の待機児童数	62人 (R2.4.1)	90人 (R3.4.1)	6人 (R4.4.1)		0人
②放課後児童クラブ数【累計】	48施設 (R2.3.31)	51施設 (R3.3.31)	51施設 (R4.3.31)		55施設
取組 の評価	指標①	新規保育施設の創設や改築等、受入児童数の増加を図り待機児童対策に取り組んでいますが、入園希望者が年々増加しており、待機児童の解消には至っていません。			
	指標②	共働き世帯の増加等に伴い、放課後児童クラブのニーズ数も増加しています。 新たな施設の増加がありました。閉鎖した施設もあったため、施設数は令和2年度から変わっていません。			
今後 の方針	指標①	保育士の処遇改善のための給与の上乗せやICT導入の推進により、保育士の業務負担の軽減を図ります。 また、民間保育施設整備に係る補助や保育士資格の取得をめざす学生に対して修学資金の貸付を行い、保育士の確保とともに受入児童数の増加を図り、待機児童の解消に努めます。			
	指標②	研修の受講案内を周知することで職員のスキルアップにつなげ、保育の質の向上を図ります。 また、引き続き放課後児童クラブのニーズを把握しつつ、運営に係る補助を行うことで児童の育成の場の確保に努めます。			

基本的方向(2)働きながら産み育てやすい環境づくり

具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの促進(P.11)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①ワーク・ライフ・バランスの促進のためのセミナー参加者数	157人 (R2.3.31)	40人 (R3.3.31)	89人 (R4.3.31)		210人
②市役所男性職員の育児休暇取得率	11.5% (R2.3.31)	17.4% (R3.3.31)	17.4% (R4.3.31)		25.0%
取組 の評価	指標①	庁内におけるワーク・ライフ・バランスの促進のために、男女共同参画の職員研修を実施しました。また、君津郡市広域市町村圏事務組合の研修においてメンタルヘルスの研修を実施しました。			
	指標②	男性職員の育児休業については、制度の周知など利用促進を図った結果、取得可能職員23人のうち4人が取得し、取得率は令和2年度と同率の17.4%となりました。			
今後 の方針	指標①	男女共同参画やメンタルヘルスだけでなく、様々な内容のワーク・ライフ・バランスについての研修を行い、働きやすい職場環境の整備に取り組みます。			
	指標②	引き続き、取得可能職員に育児休業制度の周知を行うとともに、制度を利用しやすい職場環境づくりを促進します。			

具体的な施策② 子育て世代の経済的自立支援(P. 12)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①若年者を対象とした就労支援セミナー参加者数	5人 (R2.3.31)	6人 (R3.3.31)	5人 (R4.3.31)		20人
②子育て中の方を対象とした就労支援セミナー参加者数	27人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	14人 (R4.3.31)		30人
取組 の評価	指標①	応募書類の書き方や面接対策等を実施した若年者向け就労支援セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者5人と少ない結果となりました。 また、若年者向け就労支援セミナーとは別に、就職するまでの生活・就労に関する相談対応を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から個別相談会形式で5日間実施し、合計17人に対して支援を行うことができました。			
	指標②	初心者向けパソコン講座(4日)及びハローワークや民間事業者と連携した就職説明会(1日)のカリキュラムで5日間開催しました。定員を超える申し込みがある中、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら開催し、終了後のアンケートでは講座の進め方や内容に関して、全ての参加者から満足との回答を得ました。			
今後 の方針	指標①	今後、若年者を対象とした就労支援セミナーの周知の強化と、現状を踏まえた魅力あるセミナー内容を検討し、実施します。 また、市内の雇用状況や就職率を注視し、関係機関と連携しながら、ニーズに合わせた内容を検討します。			
	指標②	令和4年度は、子育て中の方を対象としたセミナーを2期に拡充するとともに、アンケートの結果等を踏まえ、内容の充実を図ります。			

基本的方向(3)「木更津っ子」を育む教育の充実

具体的な施策① 「木更津っ子」を育む教育の充実(P.13)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①英語検定3級以上の受験率	34.18% (R2.3.31)	31.15% (R3.3.31)	35.6% (R4.3.31)		40.0%
②木更津市教職員のICT活用指導力	79.1% (H30年度)	79.6% (R3.3.31)	82.7% (R4.3.31)		85.0%
取組 の評価	指標①	広報きさらづ、らづナビ等の活用や、学校を通じて周知を図ったことにより、受験率、合格率ともに上昇しました。(合格率:令和2年度 64.27% → 令和3年度 66.67%)			
	指標②	ICT活用指導力4観点の内訳は、 ①教材研究や事前準備への活用…86.4%、②授業中の活用…77.0%、 ③児童生徒のICT活用への指導…79.1%、④情報活用の知識・態度についての指導…88.3% となりました。 また、校内情報化推進チームを中心とした研修体制の構築により、全体で3ポイント以上のICT活用指導力の向上が見られました。 ※校内情報化推進チームとは… 学校内において、情報化推進リーダーを中心とした教職員の選抜チームを作り、他の教職員への研修や外部の支援員と連絡調整を行うなど、中心となって校内の情報化を進めていくものです。			
今後 の方針	指標①	英語検定料補助金交付制度の補助対象を中学校3年生の一般的合格レベルである3級受験者とし、より多くの生徒が3級を有することにより、中学校3年生で必要な英語力の底上げを図ります。			
	指標②	校内情報化推進チームを中心としたさらなる研修の充実を図ります。令和3年度はリーダー育成のための研修を中心に実施しましたが、令和4年度はICTの活用不安がある教職員を対象の研修も実施することで、全体の底上げを図ります。 また、優れた実践について継続して発信・共有を行うことで、教職員の意識向上に取り組みます。			

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標2 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる					
数値目標(P.15)					
数値目標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数	21件 (R2.3.31)	8件 (R3.3.31)	7件 (R4.3.31)		25件
取組 の評価	<p>地域経済の活性化に向けて、電子地域通貨「アクアコイン」の普及促進や、「らづ-Biz」による地元中小企業・小規模事業者の売上増進に向けた伴走型支援の推進、また、中小企業のニーズに対応した中小企業資金融資制度を継続し、円滑な資金繰りに対応しました。</p> <p>また、企業誘致拠点として「かずさアカデミアパーク」、「金田地区」、「インターチェンジ周辺地区」の3つを掲げ、企業誘致に取り組んだ結果、製造業、物流業及び小売業等多様な業種の企業進出が進みました。</p> <p>そのほか、雇用の創出に繋げるため、千葉県ジョブサポートセンターや近隣3市(君津市・富津市・袖ヶ浦市)等と連携し、団塊世代の定年退職後の再就職希望者向けに就労支援セミナーと個別相談会を実施しました。</p> <p>観光分野では、「きさらづDMO」が行う里山・里海を活用し、ウィズコロナ・ポストコロナに対応したツアー商品の造成・販売に対して、連携・支援に取り組みました。</p> <p>農林水産分野においては、学校給食で木更津産有機米や千葉県産の野菜等を優先的に使用することで、地域の食文化や産業への理解、生産者への感謝等につながる食育の推進に取り組みました。</p>				
今後 の方針	<p>地域経済の活性化に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響下において、事業者に対し事業継続の効果的な資金支援を行い、また、産業・創業支援センター「らづ-Biz」と連携し、創業をめざす方への支援を行うとともに、開業・育成資金の利用を促進します。</p> <p>また、「アクアコイン」の普及促進に向け、公民連携による利用者・加盟店の増加を図るとともに、銀行口座からのチャージを可能にするなど、さらなる利便性の向上を図ります。</p> <p>観光分野では、ポストコロナを見据えた効果的な観光おもてなしセミナーの開催を検討するとともに、地域資源を活かした観光振興を推進できるよう創意工夫に努めます。</p> <p>農林水産分野では、学校給食において木更津産有機米や千葉県産の食材をより取り入れることで、地産地消、食育の推進に努めます。</p>				

基本的方向(1)農林水産業の成長産業化への支援

具体的な施策① 有機農業や地産地消の促進(P. 17)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①学校給食における有機米の提供割合	2.4% (R2.3.31)	11.8% (R3.3.31)	38.2% (R4.3.31)		43.0%
②道の駅「木更津 うまくたの里」における 市内農産物取扱高	13,800万円 (R2.3.31)	16,600万円 (R3.3.31)	18,600万円 (R4.3.31)		18,000万円
					20,000万円
取組 の評価	指標①	有機米を全小中学校へ52日間提供しました。併せて、有機米生産者と学校の給食試食会を実施し、顔の見える学校給食の提供に努めました。			
	指標②	新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令される状況下でしたが、「新たな生活様式」の定着等により、農産物等の需要が高まりを見せたことにより、前年度を上回る取扱高となりました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。			
今後 の方針	指標①	引き続き、生産量に合わせて有機米を提供できるよう図るとともに、有機米生産者と学校の給食試食会を実施し、生産者の顔が見える学校給食の実現に向けて取り組みます。			
	指標②	「新たな生活様式」の定着等により、引き続き、農産物等の需要は高まることが見込まれるため、生産者の安定した出荷先としての役割を十分発揮するとともに、生産者や指定管理者と連携し、消費者の需要に応じた多品種・多品目の品揃えによる販売促進に努めます。			

具体的な施策② 食育の推進(P.18)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①学校給食に提供する千葉県産食材の使用割合	39.3% (R2.3.31)	37.8% (R3.3.31)	43.5% (R4.3.31)		41.0%
					45.0%
②学校給食における有機米の提供割合【再掲】	2.4% (R2.3.31)	11.8% (R3.3.31)	38.2% (R4.3.31)		43.0%
③「食」と「第一次産業」をテーマとしたイベントの参加者数	24,700人 (R2.3.31)	6,565人 (R3.3.31)	7,626人 (R4.3.31)		28,500人
取組 の評価	指標①	千葉県産の米や野菜等を学校給食で優先的に使用したほか、掲示物や給食だよりに生産者を掲載するなど、地域の食文化や産業への理解、生産者への感謝等につながる食育の推進に取り組みました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を修正しました。			
	指標②	有機米を全小中学校へ52日間提供しました。併せて、有機米生産者と学校の給食試食会を実施し、顔の見える学校給食の提供に努めました。			
	指標③	新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの開催制限等により、計画通りのイベント実施が困難な状況でしたが、市民の日である11月3日には、多様な主体との連携のもと、感染防止対策を十分に講じた上で「Kisarazu Organic City FESTIVAL 2021」を開催し、前年度を上回る参加者数となりました。			
今後 の方針	指標①	地元生産者や納入事業者の情報をもとに、引き続き千葉県産食材が学校給食に安定的に提供されるよう図ります。			
	指標②	引き続き、生産量に合わせて有機米を提供できるよう図るとともに、有機米生産者と学校の給食試食会を実施し、生産者の顔が見える学校給食の実現に向けて取り組みます。			
	指標③	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、国等が示すイベント開催に係るガイドラインを遵守した上で、「Kisarazu Organic City FESTIVAL 2022」をはじめ、地域の「食」や「第一次産業」をテーマとするイベントを開催します。			

具体的な施策③ 新規就農の促進(P. 19)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①認定新規就農者数		5人 (R2.3.31)	7人 (R3.3.31)	9人 (R4.3.31)		9人 (R2~R4) 10人 (R2~R4)
取組 の評価	指標①	農業関係機関と連携を図り、就農や農地確保へのきめ細かな相談に対応した結果、新たに2名の認定新規就農者が認定されました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を修正しました。				
今後 の方針	指標①	引き続き、農業関係機関と連携し、就農や農地確保への相談体制の充実を図るとともに、就農に向けた総合的な支援体制を構築し、担い手育成に取り組みます。				

具体的な施策④ 有害鳥獣対策の強化(P. 19)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①農作物被害額		2,264万円 (R2.3.31)	2,061万円 (R3.3.31)			1,600万円
取組 の評価	指標①	有害鳥獣による農作物被害対策として、捕獲による駆除対策や防護柵の設置への支援に取り組んだ結果、前年度に比べ、農作物被害額が約200万円程度低減しました。 ※令和3年度の実績値が確定していないため、令和2年度の実績値を記載しています。				
今後 の方針	指標①	有害鳥獣による農作物被害対策として引き続き、捕獲による駆除対策、防護柵の設置への支援や新たな捕獲従事者の育成、支援に努めるとともに、獣肉処理加工施設による食肉への有効活用などに取り組みます。				

具体的な施策⑤ 農林水産業の六次産業化・ブランド化に対する支援(P. 20)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①新規販路開拓生産者数		0事業者 (R2.3.31)	4事業者 (R3.3.31)	3事業者 (R4.3.31)		5事業者
取組 の評価	指標①	道の駅 木更津うまかつの里との連携により、市内3事業者が新たに生産者契約を締結し新たな販路を開拓することができました。				
今後 の方針	指標①	生産者や関係機関・団体等と連携し、木更津産農林水産物のブランド化や販路拡大に向けた取組を支援します。				

具体的な施策⑥ 水産業の持続的発展に向けた支援(P.21)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①アサリの年間生産量		70t (R2.3.31)	7.45t (R3.3.31)	140.64t (R4.3.31)		25t 140t
②潮干狩り入場者数		187千人 (R2.3.31)	33千人 (R3.3.31)	98千人 (R4.3.31)		250千人
取組 の評価	指標①	<p>漁業関係機関との連携を図り、地場のアサリを保護・育成するための囲い網・被覆網による食害防止対策やスズカモの駆除対策等の漁場管理を行った結果、生産量が増加し、一定の効果がありました。</p> <p>また、水産多面的機能発揮対策事業による干潟漁場の環境と生態系を保全する活動について、県と連携し、新木更津市漁業協同組合と金田漁業協同組合に助成しました。</p> <p>※令和3年度に目標値を達成したため目標値を変更しましたが、変動が大きいため現状維持を目標とします。</p>				
	指標②	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響から、潮干狩りが1カ所臨時休業となりました。また、大型商業施設での潮干狩りPRイベントは中止になりましたが、市内小学校や観光スポットへのチラシ配布や観光パンフレット「週末木更津計画」への掲載など情報発信を行い、来場者数の確保に努めました。</p>				
今後 の方針	指標①	生産量の増加へ向け、引き続き漁業関係機関との連携を図り、アサリの食害対策や稚貝保護等の漁場管理や、干潟漁場の環境と生態系の保全活動の支援を行います。				
	指標②	大型商業施設・海ほたるPA等の観光スポットとの連携による周知活動や県主催のPRイベントの活用等を推進するなど、引き続き効果的な情報発信を図ります。				

基本的方向(2)産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援

具体的な施策① 産業・創業に対する包括的支援(P. 22)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①「らづ-Biz」の支援を受けて新規創業した件数【再掲】		21件 (R2.3.31)	8件 (R3.3.31)	7件 (R4.3.31)		25件
取組 の評価	指標①	新規創業者数(開業届提出事業者)は7件でしたが、既存事業者の新店舗開店や本市への新規出店、副業開始などを含めると、25件の開店・開業支援を行うことができ、地域経済の活性化に寄与しました。				
今後 の方針	指標①	「らづ-Biz」が主催した木更津創業塾参加者の合計は68名で、過去最高となっており、新型コロナウイルス感染症の影響下において、創業をめざす方からの需要は高くなっています。引き続き、創業支援に取り組み、地域経済の活性化を図ります。				

具体的な施策② 中小企業等の持続的成長に対する支援(P.23)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①中小企業資金融資の一般事業資金新規利用件数	101件 (R2.3.31)	75件 (R3.3.31)	121件 (R4.3.31)		150件
②中小企業資金融資の開業・育成資金新規利用件数	4件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	3件 (R4.3.31)		5件
取組 の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する国の無利子・無担保の融資制度が終了したことから、本市融資制度を活用する事業者が増加しました。この融資制度は、低金利に加え、利子相当分の利子補給金が受けられることから、事業者のニーズに対応した支援を行いました。			
	指標②	前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響から創業を控える方が多く、申請は目標値に達していないものの、前年度の0件から3件となり、創業者数が増加しました。			
今後 の方針	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響下において、事業者の事業継続の効果的な資金支援となるとともに、中小企業資金融資制度の運用率も高いことから、今後も継続して実施してまいります。			
	指標②	「らづ-Biz」と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響下でも創業をめざす方への伴走支援を行うとともに、その支援の一つとして、開業・育成資金の利用を促進してまいります。			

具体的な施策③ 電子地域通貨「アクアコイン」を活用した地域経済活性化の推進(P.24)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①電子地域通貨「アクアコイン」の加盟店数【平成30年度からの累計】	565店 (R2.3.31)	663店 (R3.3.31)	750店 (R4.3.31)		1,500店
②電子地域通貨「アクアコイン」の利用金額	1億9,590万円 (R2.1.31)	2億7,196万円 (R3.3.31)	3億1,609万円 (R4.3.31)		13億2,000万円
③加盟店間取引コイン数	1,335万コイン (R2.1.31)	594万コイン (R3.3.31)	1,174万コイン (R4.3.31)		4,000万コイン
取組 の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響により、新規加盟店の開拓営業が積極的に実施できなかったため、単年度の加盟店増加数の伸びが令和2年度より減少しました。			
	指標②	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、民間企業からの寄附金を活用した、「アクアコイン×JID GROUP20%ポイント還元キャンペーン」などの各種キャンペーンを効果的に実施したことで、利用金額について単年度実績で4,413万円の増加となりました。			
	指標③	アクアコインを活用した市から各種団体への補助金支出について、令和2年度実績は2団体であったが、令和3年度は6団体になったことで、加盟店間での取引コイン数が単年度実績で580万円の増加となりました。			
今後 の方針	指標①	アクアコインの有用性やメリット等を再整理したうえで、新たに周知資料を作成し、日常的に利用頻度の高い店舗を中心に営業活動を行います。			
	指標②	チャージの利便性や支払い時の利便性向上に向けて、市民や利用者の意見を踏まえた対策を講じるほか、効果的なポイント付与キャンペーンの実施や積極的なPR活動等を展開します。			
	指標③	加盟店間取引の課題を浮き彫りにするため、加盟店に対してアンケート調査を実施し、加盟店間取引の増加策を検討します。			

基本的方向(3)企業誘致の促進

具体的な施策① 立地特性を活かした産業集積・企業誘致の推進(P. 25)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①企業の立地決定件数(増設を含む)【平成20年度からの累計】		37件 (R2.3.31)	40件 (R3.3.31)	43件 (R4.3.31)		50件
取組 の評価	指標①	<p>かずさアカデミアパークで2件(株式会社八天堂きさらづ、荏原実業パワー株式会社)、潮見地区で1件(大洗工業株式会社)の計3件が立地を決定しました。この他、かずさアカデミアパーク内で立地決定後、未利用地となっていた土地を取得した企業の立地決定が1件(たつみ工業株式会社)ありました。</p> <p>本市における企業誘致拠点として「かずさアカデミアパーク」「金田地区」「インターチェンジ周辺地区」の3つを掲げ、企業誘致に取り組んだ結果、主にかずさアカデミアパークには製造業が、金田地区には物流業や小売業など多様な業種の企業が進出しました。</p> <p>また、金田地区では千葉県と共に誘致を進めたコストコホールセールジャパンの本社移転について、令和4年夏頃の移転に向け、本社棟の建設が進められています。</p>				
今後 の方針	指標①	<p>新たな「木更津市企業誘致方針」に基づき、企業訪問や情報発信などにより本市の企業立地の優位性をPRするとともに、立地奨励金制度等を活用した企業誘致の推進に取り組めます。</p> <p>また、デベロッパーと連携した新たな産業用地を確保するため、実効性・実現性の高い候補地調査を実施してまいります。</p>				

基本的方向(4)観光産業の競争力強化

具体的な施策① 地域資源を活かした観光振興(P. 26)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①観光おもてなしセミナー参加団体数	24団体 (R2.3.31)	0団体 (R3.3.31)	0団体 (R4.3.31)		50団体
②着地型観光商品の開発による旅行受入者数	1,247人 (R2.3.31)	235人 (R3.3.31)	884人 (R4.3.31)		1,500人
③大型クルーズ船の入港数	1隻 (R2.3.31)	0隻 (R3.3.31)	0隻 (R4.3.31)		6隻
取組 の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催を中止しました。			
	指標②	観光地域づくり法人「きさらづDMO」が行う、シーカヤック体験やキャンプ、教育旅行プログラムなど、本市の里山・里海を活用し、ウィズコロナ・ポストコロナに対応したツアー商品の造成・販売に対して、連携・支援を図りました。			
	指標③	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年12月に予定していた国内クルーズ船の寄港が中止となりましたが、海外クルーズ専門誌への木更津港に関する記事掲載など、ポストコロナを見据えた誘致活動を推進しました。			
今後 の方針	指標①	一般社団法人木更津市観光協会の各部会やきさらづDMOのワーキンググループなどのネットワークを活用し、県や関係団体の各種セミナーの情報共有を図るとともに、ポストコロナを見据えた効果的なセミナーの開催を検討します。			
	指標②	引き続き、ウィズコロナ・ポストコロナに対応した魅力あるツアーの造成・商品化を進める「きさらづDMO」や地域の関連事業者と連携し、着地型観光商品の充実を図ります。また、着地型観光商品の開発による旅行受入者数の増加を促進するため、様々な広報媒体を活用し、効果的な情報発信を行います。 また、周辺自治体や関係団体、企業等と連携を図り、自転車を活用したイベントの開催を通じ、サイクルツーリズムを推進してまいります。			
	指標③	クルーズ船の受入に向けて、国や県とともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じ、継続的かつ積極的な国内外のクルーズ船社や旅行会社等への誘致活動を実施します。 また、国外クルーズ船社への誘致活動等を継続し、大型外航クルーズ船の寄港実現をめざします。			

基本的方向(5)安定した雇用の確保

具体的な施策① 地元企業と求職者のマッチング支援(P. 27)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①中高年・シニア向け就労支援セミナー参加者数	13人 (R2.3.31)	67人 (R3.3.31)	44人 (R4.3.31)		30人
					50人
②地元企業合同説明会参加者数	68人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	0人 (R4.3.31)		100人
③地元企業合同説明会を通じて就職した人数	10人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	0人 (R4.3.31)		20人
取組 の評価	指標①	千葉県ジョブサポートセンターと近隣4市(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市)が共催し、中高年再就職セミナーと個別相談会を一体的に開催したところ27人の参加があり、また、生活・就労に関する相談対応を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から個別相談会形式で5日間実施し、合計17人に対して支援を行いました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。			
	指標②	新型コロナウイルス感染拡大により、合同説明会を実施しませんでした。			
	指標③	新型コロナウイルス感染拡大により、合同説明会を実施しませんでした。			
今後 の方針	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、セミナーの内容も最新の情報を取り入れており、多くの方が参加していたため、求職者のニーズに合っていると考えられます。 今後も市ホームページや広報紙を活用して積極的に情報発信し、多くの参加者を募ることができるよう周知に努めます。			
	指標②	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新しい働き方・暮らし方が普及していることから、リモートワークなど時代のニーズに合った働き方も実現できるまちとして、広くPRするイベント等にシフトします。			
	指標③	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新しい働き方・暮らし方が普及していることから、リモートワークなど時代のニーズに合った働き方も実現できるまちとして、広くPRするイベント等にシフトします。			

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標3 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する					
数値目標(P.29)					
目標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①人口の社会増	621人 (R2.3.31)	736人 (R3.3.31)	721人 (R4.3.31)		1,050人
②大規模集客施設を除く年間観光入込客数	1,353千人 (R2.3.31)	856千人 (R3.3.31)	1,022千人 (R4.3.31)		1,100千人
取組 の評価	<p>木更津駅周辺における街なか居住マンション建設への補助や取得助成により、移住・定住を促進しましたが、空き家バンクの登録件数が少なく、空家バンク制度の利活用はありませんでした。 金田バスターミナルの乗入路線に新たに関西方面の夜行バスが加わり、既存路線は観光施設への停留所が追加され、交通の利便性が向上しました。 また、本市のブランド力を高めるため各種普及啓発事業に加え、オーガニックアクション宣言企業の増加、各種SNS等を活用し、市内外の幅広い世代に向け、情報発信の強化に努めました。 新型コロナウイルス感染症の影響下において、「きさらづDMO」と連携を図り、PR活動や新たな観光資源の創出を行い、観光客の誘致に取り組みました。</p>				
今後 の方針	<p>街なかへの定住促進のため、中心市街地活性化基本計画に基づく市街地の環境改善を図り、「きさらづ出前講座」を活用した空家バンク制度のPR活動などを行うことにより、本市への移住・定住者の増加をめざします。 また、観光商談会への参加や本市の魅力ある観光コンテンツを積極的にPRするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナにおける観光資源の創出に向けて、「きさらづDMO」と連携し観光入込客数の増加に取り組みます。</p>				

基本的方向(1)多様なライフスタイルがかなう定住の促進

具体的な施策① 街なか・農村漁村への定住促進(P. 31)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①木更津駅周辺において、土地利用の共同化・高度化がなされた面積【令和元年度からの累計】	未実施 (R2.3.31)	0.4ha (R3.3.31)	0.5ha (R4.3.31)		0.5ha
②空家バンクを通じた空家の利活用した件数【平成30年度からの累計】	7戸 (R2.3.31)	12戸 (R3.3.31)	12戸 (R4.3.31)		40戸
取組 の評価	指標①	平成29年度から実施している街なか居住マンション建設補助事業により、土地利用の共同化・高度化がスケジュールどおりに進めることができたため、目標値を達成しました。 ※新たに令和4年度から調査設計に着手し、令和6年度に竣工予定であるため目標値の変更は行いません。			
	指標②	住宅金融支援機構と連携し、JR東京駅において、デジタルサイネージを活用した周知を図りました。 令和3年度は、空家の利活用(件数)はありませんでしたが、これは、空家バンクの登録件数が少なかったことで空家の成約がなかったためであると考えております。			
今後 の方針	指標①	中心市街地活性化基本計画に基づき、市街地の環境改善、良好な市街地住宅の供給、土地の共同化及び高度化等の整備を図ります。			
	指標②	空家バンクへの空家登録数の増加に向けて、きさらづ出前講座を活用するなど、市民に対して制度の周知を図ります。 また、空家バンク制度について、広報紙等様々な媒体を活用し、市内のみならず市外の方へも周知を図ります。			

基本的方向(2)快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成

具体的な施策① みなとまち木更津の再生(P.32)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①中心市街地内の人口社会増	8人 (R2.1.1)	235人 (R3.1.1)	242人 (R2~R3累計) (R4.1.1)		162人 (R2~R4累計)
②「木更津バル」のチケット売上金額	432千円 (R2.3.31)	765千円 (R3.3.31)	—		2,000千円
取組 の評価	指標①	令和4年3月に大規模集合住宅が竣工したため微増となりましたが、中心市街地活性化基本計画に基づき住環境の向上によるまちなか居住の推進を図っており、目標値を上回るペースでの人口の社会増を果たしています。 ※令和3年度に目標値を達成しましたが、木更津市中心市街地活性化基本計画(令和2年3月策定)との整合性を図るため、目標値の変更は行いません。			
	指標②	木更津駅周辺の飲食店の周遊を促し、街なかの賑わいを創出することを目的に毎年2回開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年度は中止となりました。			
今後 の方針	指標①	「街なか居住マンション建設補助事業」や「街なか居住マンション取得助成事業」、「空家リフォーム助成事業」による定住人口の増加をめざします。			
	指標②	これまでの効果を検証するとともに、ウイズコロナ・ポストコロナにおいても開催可能な方法を検討します。			

具体的な施策② 交通ネットワークの強化(P.33)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①木更津金田バスターミナル(チバスタアクア金田)の高速バス乗入れ路線数【平成25年度からの累計】	11路線 (R2.3.31)	11路線 (R3.3.31)	12路線 (R4. 3. 31)		15路線
②道路整備率(下郡大稲線、中野畑沢線(桜井工区)、市道6431号線)	25.7% (R2.3.31)	36.7% (R3.3.31)	37.7% (R4.3.31)		61.0%
取組 の評価	指標①	<p>新たに関西方面への夜行バスがバスターミナルへの乗り入れ路線に加わり、既存路線の観光施設への停留所の追加などがありました。金田地区周辺道路の渋滞が問題となり、定時性確保等を理由に、土日祝日の午後の時間帯においてバスターミナルへの乗り入れが一部休止となっております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少したことで、一部の路線の減便・休止が続いております。</p>			
	指標②	<p>下郡大稲線については、道路詳細設計を実施したことにより、各路線の整備率が向上しました。</p> <p>また、中野畑沢線(桜井工区)については、用地取得、物件補償などの進捗を図り、市道6431号線については、道路拡幅工事を実施しました。</p>			
今後 の方針	指標①	<p>千葉県の玄関口として、魅力あふれる拠点づくりに取り組むとともに、関係機関と連携し、周辺の交通渋滞の緩和に向けて取り組むことにより、さらなる高速バス乗入れ路線数の増加をめざします。</p>			
	指標②	<p>下郡大稲線については、設計業務を進めることで計画路線の整備促進を図ります。</p> <p>中野畑沢線(桜井工区)は、引き続き、用地取得、物件補償などの進捗を図ります。</p> <p>市道6431号線については、引き続き道路拡幅工事を実施します。</p>			

基本的方向(3)木更津の様々な魅力の情報発信の強化

具体的な施策① 地域ブランドの構築(P. 34)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①オーガニックなまちづくりの認知度	45.2% (H30年度)	50.5% (R3.3.31)	58.0% (R4.3.31)		80.0%
②オーガニックアクション宣言企業認定数 【平成30年度からの累計】	52件 (R2.3.31)	61件 (R3.3.31)	73件 (R4.3.31)		70件
					80件
③景観形成重点地区の指定件数	未指定 (R2.3.31)	未指定 (R3.3.31)	1件 (R4.3.31)		1件
取組 の評価	指標①	<p>オーガニックなまちづくりの認知度向上を図るため、各SNS等(FB:フォロワー数593、Instagram:フォロワー958、Line:友だち200)を活用し、幅広い世代へ情報発信を図りました。</p> <p>また、市民の日(11月3日)に合わせて開催したオーガニックシティフェスティバルでは、市内外から約7,600人の来場者が訪れ、食事や体験を通してオーガニックに触れてもらうことで、「オーガニックなまちづくり」の推進を図りました。これらの取組により、令和2年度よりも「オーガニックなまちづくり」を知っている人が増え、認知度向上につながりました。</p>			
	指標②	<p>広報ささらづへの掲載やHP、SNS等でオーガニックアクション宣言企業の取組の紹介と併せて、オーガニックなまちづくりを実践する企業であるオーガニックアクション宣言企業として12企業を新たに認定し、令和4年3月14日に認定証交付式を実施するなど、取組を継続して行うことで、認定件数の増加につなげました。</p>			
	指標③	<p>「みなとまち木更津再生プロジェクト」との連携を図り、地域住民との協働により景観形成を推進するため、先導的に富士見通り沿道を「木更津駅みなと口景観形成重点地区」として指定しました。</p> <p>※令和3年度に目標値を達成しましたが、今後、富士見通りの状況を見て、他の候補地を検討します。</p>			
今後 の方針	指標①	<p>継続した事業実施により、「オーガニックなまちづくり」のさらなる浸透及び庁内に対して細かな情報共有を行うことで、オーガニックなまちづくりの理解度向上に向けて取り組みます。</p>			
	指標②	<p>「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」(※国内のSDGs事業を推進することを目的に設立され、SDGsに関するステークホルダーが協力関係を深める場として活用されている)等を通して、市内外に広くオーガニックシティ木更津の現状・取組・課題等を提示することで、オーガニックアクション宣言企業の参画を図ります。</p>			
	指標③	<p>令和4年5月に地元説明会を開催し、重点地区における支援事業補助制度を積極的に活用していただけるよう取り組みます。</p>			

具体的な施策② 魅力発信力の強化(P.35)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①行政情報番組「オーガニックシティきさらづ」のYoutube平均視聴回数	333回 (R2.3.31)	834回 (R3.3.31)	648回 (R4.3.31)		900回
②Facebook各投稿の平均リーチ数	3,161リーチ (R2.3.31)	2,321リーチ (R3.3.31)	1,720リーチ (R4.3.31)		3,700リーチ
③らづナビダウンロード数【平成30年度からの累計】	10,478件 (R2.1.31)	16,596件 (R3.3.31)	23,304件 (R4.3.31)		20,000件
					25,000件
取組 の評価	指標①	前年度より減少しましたが、タイムリーな話題や動画でしか伝えることのできない情報を盛り込むことで、一定の視聴回数を確保しました。			
	指標②	新型コロナウイルス感染症の新規感染者情報など、積極的にリーチを図ってもらえない投稿数が増えたことや、媒体自体のアクティブユーザー数の減少が、リーチ数減少の一因となっております。			
	指標③	アプリの認知度向上や、手軽に情報を入手できる手段として周知されてきたことから、目標値としていたダウンロード数を上回ることができたと評価します。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。			
今後 の方針	指標①	再生数の高い動画とそうでない動画を比較検証し、伝えたいことを魅力あるかたちで伝えられるような情報発信になるよう取り組みます。			
	指標②	投稿のタイミングや内容の工夫を行うなど、発信する内容の見せ方の見直しを行います。また、過去の投稿から「いいね数」や「シェア数」が多いものを研究し、魅力ある発信になるよう活用します。			
	指標③	引き続き、実装されている機能を活用し、市の情報をより得やすいアプリになるよう運用に努めます。			

基本的方向(4)アクアライン等を活かした交流人口の創出

具体的な施策① 観光客の回遊性向上(P. 36)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①観光パンフレット掲載のクーポン利用率	8.4% (R2.3.31)	5.5% (R3.3.31)	— (R4.3.31)		10.0%
②観光入込客数	1,914万人 (R2.3.31)	1,513万人 (R3.3.31)	1,476万人 (R4.3.31)		2,100万人
取組 の評価	指標①	<p>東京・神奈川を中心に多くの来訪者がある大型商業施設で「週末木更津計画」PRイベントを開催し、観光客の市内への回遊促進を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。クーポン利用率はイベント内で実施するアンケートをもとに算出しているため、令和3年度の実績を調査することができませんでした。</p> <p>なお、作成した「週末木更津計画」パンフレットは、海ほたるや大型商業施設等の観光スポットに設置し、市内の観光施設や飲食店情報等を発信しました。</p>			
	指標②	<p>新型コロナウイルス感染拡大により各種観光商談会への参加が制限される中、本市のPR活動を行うため、きさらづDMOと連携を図り、PR活動や観光資源の創出を行い、観光客の誘致に取り組みました。</p> <p>また、イベント等の開催時には観光ノベルティの配布を行い、本市のPRを図りました。</p>			
今後 の方針	指標①	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、経費の削減を図りつつ、イベント運営に頼らない本事業のプロモーション効果を検証するため、試験的にWEB版「週末木更津計画」を作成し、その効果を検証します。</p>			
	指標②	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底を各観光施設等に周知するとともに、観光商談会への参加やSNSを活用した情報発信を通じて、本市の魅力ある観光コンテンツの積極的なPRを行い、ウィズコロナ・ポストコロナにおける観光資源の創出に向けて、きさらづDMOと連携して取り組みます。</p>			

具体的な施策② 外国人観光客の誘致(P.37)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①外国人観光客宿泊者数	71,662人 (R2.3.31)	8,461人 (R3.3.31)	2,235人 (R4.3.31)		85,000人
②国際会議の開催件数	2件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	0件 (R4.3.31)		5件 (R2~R4累計)
取組 の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人の入国制限がある中、日本語を含め8か国語対応可能なwebサイトを作成し、当該サイトにつながるQRコードを各観光施設に掲示することで、ポストコロナを見据えた外国人観光客の受入整備を行いました。			
	指標②	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人の入国制限がされていたことから、ちば国際コンベンションビューローと連携してオンラインでの商談会へ参加することにより、シンガポール、タイ、マレーシア、台湾といったアジア諸国のランドオペレーター(旅行サービス手配業者)に対し、本市のPRを行いました。また、日本在住のランドオペレーターへ向けて、市内MICE施設の視察会を実施しました。			
今後 の方針	指標①	ポストコロナを見据えて、観光関連事業者と連携して外国人観光客の受入態勢を整えるとともに、外国人観光客の本市への誘致促進のために、日本政府観光局(JNTO)や千葉県と連携して積極的な情報発信に努めます。			
	指標②	令和4年度は3件の国際会議が予定されていることから、ちば国際コンベンションビューローや宿泊施設等と連携を図りながら、会議の開催を支援します。また、国際会議の主催・参加団体それぞれのニーズを的確に把握し、ちば国際コンベンションビューローとの連携のもと、引き続きMICEの誘致を推進します。			

具体的な施策③ 国際交流・国際理解の推進(P.38)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①国際交流事業の実施件数	171件 (R2.3.31)	72件 (R3.3.31)	90件 (R4.3.31)		250件
取組 の評価	指標①	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業が実施できない中、市民レベルの国際交流を促進するために、木更津市国際交流協会との連携と支援に取り組み、オンライン交流の環境整備を促進しました。また、ベトナム社会主義共和国ダナン市の学校と富来田小学校・富来田中学校で児童・生徒間のオンライン交流を行うなどし、前回調査時より実施件数が18件増えてましたが、目標値には届きませんでした。			
	指標②	さらなる国際交流への理解を促進するため、木更津市国際交流協会との連携を強化しつつ、創意工夫を図りながら実施可能な事業やオンラインによる交流等の環境整備に努め、事業の拡大を図ります。			

基本的方向(5)多様な地域資源を活かした関係人口の創出

具体的な施策① 都市と農村漁村の関わり方強化(P. 39)

重要業績評価指標(KPI)						
指標		実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①都市と農村漁村の交流活性化を目的としたイベントの参加者数		906人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	223人 (R4.3.31)		1,500人
取組 の評価	指標①	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、人の移動や経済活動が大きく制限される中、都市と農村の交流促進を目的とした農泊の推進に向けて、道の駅「木更津 うまくたの里」に整備した体験農園において、市民活動団体が主催する、①じゃがいも、②さつまいも、③枝豆、の収穫体験を実施しました。</p> <p>※農泊とは… 農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」をいい、地域資源を観光コンテンツとして活用し、インバウンドを含む国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と活性化を図ります。</p>				
今後 の方針	指標①	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、道の駅「木更津 うまくたの里」を拠点として、農作物の収穫体験や道の駅の開業5周年を祝した収穫祭の開催など、本市の農業資源を活用した農泊(農山漁村滞在型旅行)を推進します。</p> <p>また、本年7月に本市を会場に開催する第22回全国産地シンポジウム ～2022ブルーベリーin木更津大会～において、本市の特産品であるブルーベリーの魅力を領域外に広く発信します。</p>				

基本目標4 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する					
数値目標(P.41)					
目標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①地区まちづくり協議会設置割合	53% (R2.3.31)	73% (R3.3.31)	86.6% (R4.3.31)		100%
②自主防災組織カバー率	49.7% (R2.3.31)	50.9% (R3.3.31)	53.1% (R4.3.31)		70.0%
取組 の評価	<p>自立した地域づくりに向けて、財政的支援として地域自治振興補助金の交付、人的支援として地域推進職員制度による市職員の派遣を実施し、地域自治の充実及び協働の推進を図りました。また、まちづくり協議会未設置地区に対し、説明会等を実施したことで、設置の機運が高まり、令和3年10月に市内12地区目となる「波岡西地区まちづくり協議会」、令和4年3月に市内13地区目となる「波岡公民館地区まちづくり協議会」が設置されました。</p> <p>自主防災組織については、新たに牛袋地区(1区)・金田地区(10区)・富来田地区(1区)の12区で自主防災組織が設置されたことにより、自主防災組織の合計設置数は101組織となりました。</p> <p>また、健康寿命を延伸するための取組として、メタボリックシンドローム該当者への特定保健指導の実施を特定保健指導委託事業者と連携し実施率の向上を図りました。</p> <p>地域課題に関する講座は、コロナ禍においても多くの事業を実施することができ参加者の増加につながったほか、歴史・文化教育についても動画配信を取り入れ、ふるさと木更津に対する誇りや愛着心を育むための講座を開催しました。</p>				
今後 の方針	<p>地域自治の拠点となる各公民館と連携を図り、地区まちづくり協議会未設置地区において説明会等を実施し、地域自治の必要性等の周知及び設置の機運を高めることで、全地区での地区まちづくり協議会の設置をめざします。</p> <p>また、富来田地区には31の自治会があり、自主防災組織の設置は2組織であるため、富来田地区まちづくり協議会と連携し、自主防災組織の5地区以上の設置をめざします。</p> <p>また、特定健康診査等の受診率の向上を図るため、関係機関との連携を強化するとともに、「職域健康診査」の結果を提出した者にはインセンティブを付与するなどを実施し、メタボリックシンドローム該当者への特定保健指導等の重度化予防につなげます。</p> <p>スポーツや生涯学習による講座等の開催や、歴史・文化教育の充実を図るための講座やコンサートについては、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても開催可能な方法を検討していきます。</p>				

基本的方向(1)市民力・地域力による自立した地域づくり

具体的な施策① 協働によるまちづくりの推進(P. 43)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①市民活動支援センター会議室稼働率	43.5% (R2.3.31)	16% (R3.3.31)	23.2% (R4. 3. 31)		55.2%
②地区まちづくり協議会設置割合【再掲】	53% (R2.3.31)	73% (R3.3.31)	86.6% (R4.3.31)		100.0%
③まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数【平成17年度からの累計】	1件 (R2.3.31)	2件 (R3.3.31)	2件 (R4.3.31)		4件
取組の 評価	指標①	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の自粛や施設の利用控えが見られましたが、オンラインを活用した自主事業の実施や市民活動に関する情報発信、安心して利用できる施設づくりに努め、支援活動の支援を行いました。			
	指標②	地区まちづくり協議会へ財政的支援として地域自治振興補助金の交付、人的支援として地域推進職員制度による市職員の派遣を実施し、地域自治の充実及び協働のまちづくりを推進しました。また、まちづくり協議会未設置地区に対し、説明会等を実施したことで、設置の機運が高まり、令和3年10月に市内12地区目となる「波岡西地区まちづくり協議会」、令和4年3月に市内13地区目となる「波岡公民館地区まちづくり協議会」が設置されました。			
	指標③	地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域の需要に応じた新たな交通システムとして、富来田地区において令和2年7月から自家用有償旅客運送の実証運行を開始し、令和3年7月から本格運行へ移行しました。			
今後の 方針	指標①	新型コロナウイルス感染症による活動の自粛や施設の利用控えが見られますが、引き続き、時勢に合わせた取組を実施し、市民活動の普及、促進を図ります。			
	指標②	地域自治の拠点となる各公民館と連携し、地区まちづくり協議会未設置地区において、説明会等を実施し、地域自治の必要性等の周知及び設置の機運を高めることで、全地区での地区まちづくり協議会の設置をめざします。			
	指標③	新たな交通システムを持続可能なものとするため、引き続き地域のニーズを把握するとともに、地域公共交通活性化協議会に諮ったうえで、地域の自主性を尊重した効率的な運行をめざします。 また、地域によって交通に関する課題が異なることから、引き続き地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域特性に応じた交通ネットワークの構築を図ります。			

基本的方向(2)生物多様性を育む自然との共生

具体的な施策① 自然環境や里山・里海の保全(P.44)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①里山の保全・活用に関する取組を市が支援した件数	1件 (R2.3.31)	1件 (R3.3.31)	1件 (R4.3.31)		3件
②干潟クリーン作戦の参加人数	222人 (R2.3.31)	実施なし (R3.3.31)	700人 (R4.3.31)		350人 400人
取組の評価	指標①	引き続き、里山保全を実施する活動組織1組織を支援しましたが、新たな活動組織の開拓が課題となっております。			
	指標②	保護団体・地元まちづくり協議会・市で構成される実行委員会において干潟クリーン作戦を実施し、盤洲干潟を含む自然環境の保全について啓発しました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。			
今後の方針	指標①	引き続き、森林整備等に関する支援に取り組むとともに、里山保全を通じた地域の活性化に向けて、新たな活動組織の開拓をめざします。			
	指標②	今後も、東京湾唯一の自然干潟である盤洲干潟の清掃活動等を行うことで、盤洲干潟の保全と盤洲干潟を含む自然環境の保全を啓発してまいります。			

具体的な施策② 地球温暖化対策の推進(P.45)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①温室効果ガス排出量(事務事業編)	10,555 t-CO2 (R2.3.31)	10,358 t-CO2 (R3.3.31)			11,500 t-CO2 9,400 t-CO2
取組の評価	指標①	令和元年度から市の水道事業をかずさ水道広域連合企業団が担うことになり、同事業の排出量を市役所の排出量の算定から除いたことにより、令和2年度にこれまでの目標値であった11,500t-CO2を9.9%下回る結果となりました。 基準年度である平成28年度の排出量12,411t-CO2から水道事業分の排出量2,194t-CO2を差し引くと10,217t-CO2となります。この値から目標で定めている7.34%減の排出量は9,400t-CO2となるため、この値を目標値とします。 ※目標値を修正しました。なお、令和3年度の実績値が確定していないため、令和2年度の実績値を記載しています。			
	指標②				
今後の方針	指標①	引き続き、市全体で温室効果ガスの排出削減に取り組み、地球規模の気候変動への対応に地域から貢献します。			

基本的方向(3)生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり

具体的な施策① 健康寿命の延伸(P. 46)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①特定健康診査受診率	44.1% (R2.3.31)	42.6% (R3.3.31)	41.0% (R4.3.31)		46.0%
②メタボリックシンドローム該当者	21.7% (R2.3.31)	22.9% (R3.3.31)	23.5% (R4.3.31)		19.8%
③主食・主菜・副菜を取り揃えて食べている者の割合	①1.6歳児健診 男児63.4%以上 女児68.8%以上 ②3歳児健診 男児57.5%以上 女児64.1%以上 ③若年期健診 男性73.5%以上 女性69.2%以上 ④特定健診 男性85.0%以上 女性92.6%以上 (R2.3.31)	①1.6歳児健診 男児79.8% 女児78.9% ②3歳児健診 男児77.5% 女児79.3% ③若年期健診 男性78.0% 女性81.0% ④特定健診 男性84.9% 女性91.1% (R3.3.31)	①1.6歳児健診 男児80.0% 女児78.9% ②3歳児健診 男児76.5% 女児78.4% ③若年期健診 男性74.0% 女性70.0% ④特定健診 男性85.4% 女性88.4% (R4.3.31)		①1.6歳児健診 男児75.0%以上 女児75.0%以上 ②3歳児健診 男児75.0%以上 女児75.0%以上 ③若年期健診 男性70.0%以上 女性80.0%以上 ④特定健診 男性85.5%以上 女性93.0%以上
取組の評価	指標①	令和3年度からインターネット予約を開始した結果、健康診査待ち時間が大幅に短縮され受診者の利便性が向上しました。また、健診未受診者へは再勧奨の個別通知をし、さらに広報紙での特集記事及び市ホームページへの掲載など、受診率向上に向けて様々な取組を行いました。受診率は41%で前年より1.6ポイント減少しましたが、国、県、類似団体の令和2年度と令和3年度の受診率を比較すると、国は4.5ポイント減、県は7.6ポイント減、同規模は3.1ポイント減で、当市の減少率は低く、新型コロナウイルス感染拡大による受診控え等の影響下において、評価できる数字と言えます。国保データベースによる令和3年度暫定値では、当市と類似団体規模の全国順位は、18位/103市で上位2割以内となっており、全国数値を上回って達成できました。			
	指標②	特定保健指導委託事業者と連携して、メタボリックシンドローム該当者への特定保健指導を実施し、実施率の向上を図りました。メタボリックシンドローム該当者の割合は、年々増加傾向となっていますが、前年比の増加率を比較すると、伸び率を2分の1に抑えることができました。			
	指標③	健康診査結果発送時に食に関する情報を広く周知しました。また、特定保健指導及び重症化予防保健指導の面接で個別性を重視した栄養指導を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「1.6歳児健診」及び「3歳児健診」については事業の実施方法を縮小していましたが、12月から指導対象を全数へと戻して実施することができました。			
今後の方針	指標①	令和4年度から尿中食塩濃度検査を実施し、若年期からの減塩に向けた生活予防対策に取り組んでまいります。さらに、未受診者へは、再勧奨のハカキ通知を実施し、労働安全衛生法で規定する職域健康診査の結果を提出した人へインセンティブを付与するなど、受診率向上に向けた事業を実施します。			
	指標②	30歳代への早期介入保健指導事業及びプロポーザルによる質の高い特定保健指導委託事業所の選定を継続していくことに加えて、取組の強化として、令和4年度は特定健康診査集団健診会場で、メタボリックシンドローム高リスク者への個別保健指導を実施し、特定保健指導修了者へのインセンティブを付与し、さらなる実施率の向上をめざします。			
	指標③	今後も新型コロナウイルス感染拡大の影響に応じた事業実施が見込まれますが、引き続き、健康診査結果発送時に食に関する情報を広く周知し、特定保健指導及び重症化予防保健指導の面接で個別性を重視した栄養指導を実施します。また、取組の強化として、わかりやすい資料の提供に努めます。			

具体的な施策② スポーツ・生涯学習による地域づくり(P.48)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	210千人 (R2.3.31)	103千人 (R3.3.31)	119千人 (R4.3.31)		256千人
②公民館での地域課題に関する講座の参加者数	1,099人 (R2.3.31)	868人 (R3.3.31)	1,701人 (R4.3.31)		900人
					1,800人
③出前講座の実施回数	10回 (R2.3.31)	6回 (R3.3.31)	9回 (R4.3.31)		100回
取組 の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、各種スポーツイベントを開催したことで、施設利用者の増加につながりました。			
	指標②	<p>地域の実情に応じて、各公民館がテーマを設定し、事業を実施しました。 「交流」「防災」「地域の歴史文化」「健康」などに加えて、「スマホ講座」など、デジタル社会に対応したテーマにも取り組みました。</p> <p>令和2年度に比べて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による休館期間が短かったため、多くの事業を実施することができ、参加者の増大につながりました。</p> <p>※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。</p>			
	指標③	新型コロナウイルス感染拡大の影響はありましたが、出前講座の利用数は令和元年度と同程度に回復しました。その内、オンライン出前講座の利用は2回あったことから、今後はオンラインでの利用が増えることが想定されます。			
今後 の方針	指標①	<p>スポーツ・レクリエーション活動の推進については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、誰もが参加できる各種スポーツ大会を開催します。</p> <p>また、SNS等を活用し、スポーツについての情報を発信し、今後の市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者増加につながる取組を実施します。</p>			
	指標②	地域の現状や課題を把握し、住民とのかかわりの中でテーマを設定し、地域課題の解決に向けた事業の実施に取り組みます。			
	指標③	より多くの出前講座でオンラインでの実施に対応できるよう図るとともに、市民の認知度を高めるための広報活動の強化に努めます。			

基本的方向(4)ふるさと木更津づくり

具体的な施策① 歴史・文化教育の充実(P. 49)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①本市の歴史や文化に関する公開講座参加者数	224人 (R2.3.31)	0人 (R3.3.31)	497人 (R4.3.31)		300人
					500人
②美術展覧会・コンサート参加者数	946人 (R2.3.31)	59人 (R3.3.31)	525人 (R4.3.31)		2,000人
取組 の評価	指標①	<p>木更津市史編さん事業公開講座として「木更津いまむかし～写真が語る木更津の近現代～」写真展・講演会を開催しました。講演会は60名の参加があり、本市の歴史や文化を学ぶ機会として一定の効果がありました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、公開講座「木更津の大地-化石の宝庫-」を動画配信(視聴回数437回)しました。</p> <p>※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。</p>			
	指標②	<p>芸術文化に親しむまちづくり振興事業に係る講演として、千葉県警察音楽隊「安心・安全コンサート」を1回開催(参加者85名)、中心市街地活性化基本計画ソフト事業であるアート制作ワークショップ「アートとふれあおう」を4日間開催(参加者126名、動画視聴回数188回)しました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自衛隊コンサートは中止しました。</p>			
今後 の方針	指標①	<p>令和4年度は木更津市史編さん事業公開講座を実施します。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信を検討します。</p>			
	指標②	<p>芸術文化に親しむまちづくり振興事業に係る公演として、千葉県警察音楽隊、自衛隊コンサートを開催するほか、公共ホール音楽活性化事業による音楽コンサートを実施し、市民へ良質な音楽を提供します。</p> <p>また、木更津みなどぐちアートプロジェクトや、アート制作ワークショップ「アートとふれあおう」を開催します。</p>			

基本的方向(5)安心で暮らしやすい防災都市づくり

具体的な施策① 地域防災の体制充実(P.50)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①総合防災訓練参加地区の割合	21.3% (R2.3.31)	36.0% (R3.3.31)	66.6% (R4.3.31)		50.0%
					70.0%
②自主防災組織のカバー率【再掲】	49.7% (R2.3.31)	50.9% (R3.3.31)	53.1% (R4.3.31)		70.0%
③きさらづ安心・安全メール登録数【平成18年度からの累計】	19,865件 (R2.3.31)	21,691件 (R3.3.31)	23,758件 (R4.3.31)		25,000件
取組 の評価	指標①	市内15地区中10地区が防災訓練に参加しました。他の地区においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず訓練を中止しました。 ※令和3年度に目標値を達成したため、目標値を変更しました。			
	指標②	新たに牛袋地区(1区)・金田地区(10区)・富来田地区(1区)の12区で自主防災組織が設置されたことにより、自主防災組織の合計設置数は101組織となりました。			
	指標③	新型コロナウイルス感染症の影響や、災害対策の意識の向上により、情報取得に対する需要が高まったと考えられます。			
今後 の方針	指標①	総合防災訓練の実施については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によりますが、令和4年7月末に予定している自主防災組織連絡協会総会(感染症対策を施して実施)で、自主防災組織同士の連携を高めて相互の連絡調整を図り、地域の特性等を踏まえた防災訓練のあり方について協議します。			
	指標②	富来田地区には31の自治会がありますが、自主防災組織の設置は2組織であるため、富来田地区まちづくり協議会と連携し、5地区以上の自主防災組織の設置をめざします。			
	指標③	きさらづ安心・安全メールの存在を周知するとともに、必要な情報をタイムリーに発信することで、安心・安全メールに対する信頼性の向上に努めます。			

基本的方向(6)多様な主体との連携推進

具体的な施策① 大学や高専等との連携による地域づくり(P.51)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①大学や高専と連携した市民公開講座の延べ参加者数	403人 (R2.3.31)	未実施 (R3.3.31)	71人 (R4.3.31)		630人
取組の評価	指標①	新型コロナウイルス感染症の影響により、清和大学から対面での実施が困難との申し出があったことから、木更津市公式YouTubeを活用したオンデマンド配信により行いました。			
今後の方針	指標①	講座数を増やし、広報活動の強化に努めます。			

具体的な施策② 広域連携の推進(P.52)

重要業績評価指標(KPI)					
指標	実績値 (令和元年度)	実績値 (令和2年度)	実績値 (令和3年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)
①君津地域4市の広域的な連携や共同処理による事務の見直し	1件 (R2.3.31)	0件 (R3.3.31)	0件 (R4.3.31)		3件以上
取組の評価	指標①	<p>君津郡市広域市町村圏事務組合が設置している夜間急病診療所の今後の方向性としては、設置者を木更津市とし、新たな施設整備に向け検討することについて、組合構成市である君津市、富津市、袖ヶ浦市と合意いたしました。</p> <p>また、廃棄物処理施設については、現在実施している君津地域廃棄物処理事業が令和8年度に事業終了を迎えるにあたり、君津地域4市と安房地域2市1町が令和9年度を始期とする次期処理施設の供用開始に向けて、SPC主体のもと、建設地の現況調査及び分析を実施し、環境影響評価準備書の公告・縦覧に向け、情報整理を実施しました。</p> <p>※SPCとは・・・</p> <p>次期廃棄物処理事業は、PFI事業により整備を進めています。</p> <p>PFI事業者は、資金の調達から施設の建設・運営・維持管理に至るまでの全工程に携わることとなります。この事業を実施するために、企業が事業体を組み、特別目的会社(Special Purpose Company)を設立します。</p>			
今後の方針	指標①	<p>夜間急病診療所の施設整備については、君津郡市広域市町村圏事務組合及び近隣3市と検討を進めるとともに、次期廃棄物処理施設についても、引き続きSPC主体のもと、環境影響評価準備書の公告・縦覧及び住民説明会を実施し、環境影響評価評価書を作成します。</p> <p>その他、老朽化している公共施設等の更新など、今後における財政需要の増大が見込まれることから、君津地域4市による「広域連携に係る意見交換会」や「公共施設の広域連携に係る連絡会議」などの機会を通じ、広域での共同利用・建設に向けた取組を推進します。</p>			

Ⅲ.

地域再生計画認定事業に係る令和3年度の実施効果検証

1. 電子地域通貨「アクアコイン」普及推進プロジェクト
 ～官民連携×地域一体による普及率向上へのチャレンジ～

[事業について]

概要	<p>アクアコイン普及推進協議会及びワーキング部会を設立し、地域における利活用の推進に向けた検討を行い、ワーキング部会が企画立案したキャンペーンやイベント等を開催することで、アクアコインによる消費を喚起します。</p> <p>アクアコインの更なる周知を目的に、ホームページや印刷物等を活用し、情報発信するとともに、アクアコインの利用に関する講習会等を開催し、インストール件数の増加を促進します。</p> <p>また、利用者のチャージ利便性向上のため、プリペイドカードの販売を行う加盟店に対して、販売額に応じた事務取扱手数料制度を導入することにより、販売取扱店の増加を促進させ、インストール件数及び消費額の増加を目指します。</p> <p>さらに、機能拡充について検討を行い、所要のシステム改修を実施した君津信用組合に対して負担金を支出し、利便性向上をきっかけとした、利用者及び加盟店の増加を目指します。</p> <p>そのほか、アクアコインのシステムに行政ポイント付与機能を追加して行政ポイント事業を実施するため、ポイント付与・管理等に係るシステムを賃借し運用します。</p>
交付申請期間	令和元年度から令和3年度までの3年間
令和3年度 総事業費	<p>総事業費 7,056,007 円（交付金充当額：3,528,003 円） （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクアコイン普及推進協議会事業 4,453,234 円（交付金充当額：2,226,617 円） ・アクアコインを通じた行政ポイント付与事業 2,602,773 円（交付金充当額：1,301,386 円）

[指標について]

指標	指標①	指標②	指標③	指標④	
	電子地域通貨「アクアコイン」による消費額(月平均)	「アクアコイン」アプリの新規インストール件数(年間)	「アクアコイン」の加盟店数(年間)	「アクアコイン」システム活用による市民活動分野における行政ポイント利用者数(年間)	
H30年度のKPI値 (事業開始前)	14,000千円	4,500件	404店	0人	
R3年度目標KPI値【累計】 (3か年度分の合計)	66,000千円	22,500件	900店	4,000人	
KPI増加分の実績値【累計】 (達成度%)	12,341千円(18.7%)	18,358件(81.6%)	346店(38.4%)	7,008人(175.2%)	
内訳	R1年度増加分	2,325千円	6,248件	161店	1,149人
	R2年度増加分	6,339千円	5,161件	98店	2,937人
	R3年度増加分	3,677千円	6,949件	87店	2,922人
目標年月	令和4年3月	令和4年3月	令和4年3月	令和4年3月	
取り組みの評価	<p>君津信用組合による通常のポイントキャンペーンの他、寄附金を活用して利用額に対して20%のポイント還元キャンペーンを実施するなど、アクアコインによる消費を促進しましたが、今年度の目標値には達しませんでした。本取組の趣旨等の周知不足や、利便性の高いチャージ方法を導入できていないことが内部的要因と考えます。一方で、外部的要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により市民の外出控えや店の営業自粛等で飲食店をはじめとした加盟店の売上が減少したことが要因と考えます。</p>	<p>市民等に対する本取組の趣旨等の周知不足、特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の休止が多く、対面で周知する機会が減少したことが目標値に達しなかった主要因と考えられます。また、現金を扱わず口座等からチャージするなど、利便性の高いチャージ方法が導入できていないことも大きな要因であると考えます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な加盟店営業活動が実施できなかったことが主要因であったと考えます。</p>	<p>【健康推進課】 アクアコイン利用者におけるらっFit登録者は2割弱であり、新規登録者は増えているものの、まだ少ない状況です。運動継続の必要性やらっFitの内容等について、周知不足が要因であったと考えます。</p> <p>【市民活動支援課】 市の施策に基づく事業などへ、自主的に参加や協力した市民等へ2,831件の行政ポイントを交付しました。しかし、ポイントの読込件数は、949件に留まり、今年度の目標値に達しませんでした。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、行政ポイント交付対象事業等の中止やアクアコインアプリのインストール数が主なものと考えます。</p>	
今後の方針	<p>令和4年3月に策定した、電子地域通貨「アクアコイン」普及推進計画に基づき、チャージ時の利便性や支払い時の利便性向上に向けて、市民や利用者の意見を踏まえた対策を講じるほか、効果的なポイント付与キャンペーンや、積極的なPR活動等を展開します。</p>	<p>令和4年3月に策定した、電子地域通貨「アクアコイン」普及推進計画に基づき、引き続き各種イベント事業やPR推進事業を実施するとともに、君津信用組合と利便性の高いチャージ方法の導入に向けて協議を進めます。</p>	<p>令和4年3月に策定した、電子地域通貨「アクアコイン」普及推進計画に基づき、アクアコインの有用性やメリット等の再整理を行ったうえで、新たに周知資料を作成し、日常的に利用頻度の高い店舗を中心に営業活動を行います。</p>	<p>【健康推進課】 運動習慣の獲得及び健康増進のためには、新規登録者が増加するよう周知方法を再検討するとともに、歩数増加への取組を継続することが必要です。</p> <p>【市民活動支援課】 電子地域通貨「アクアコイン」普及推進計画に基づき、より一層のコミュニティ活性化を図るため、行政ポイントの新たな付与内容や付与団体の拡大等に向けて、検討委員会を立ち上げ、検討結果を基に、今後施策の拡大を図ります。また、活動を応援したいと思う市民活動団体へアクアコインや行政ポイントを寄付できる機能の追加を行います。</p>	

2. オーガニックシティきさらづ 交流・関係人口拡大による持続可能なまちづくり推進事業

[事業について]

概要	<p>ウィズコロナ・アフターコロナでの消費者・旅行者の意識やライフスタイルの変化などを見据え、木更津の価値を活かすための交流コンテンツを「ワーケーション」・「ヘルスツーリズム」・「関係人口創出」などの新たなコンセプトから捉え、観光地域づくり法人「きさらづDMO」が木更津の資源・コンテンツの価値、ポテンシャルを最大限に引き出すための仕組み・コンテンツ開発等を行います。</p> <p>また、食や交流をテーマとした体験・交流プログラムの造成等により地域ブランディングにつなげていくとともに、他地域資源と連携したツアー商品の開発等を行います。</p>
交付申請期間	令和2年度から令和4年度までの3年間
令和3年度 総事業費	<p>総事業費 23,995,000円（交付金充当額：11,997,500円） （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津版DMO運営業務 23,995,000円（交付金充当額：11,997,500円）

[指標について]

指標	指標①	指標②	指標③	指標④	
	まちづくり事業への市民の参画人数	新たなコンセプトによるコンテンツ開発数	「食×交流」をテーマとしたコンテンツによる参加登録者数	サイクルツアー・イベントを通じた参加登録者数	
R1年度のKPI値 (事業開始前)	0人	0件	0人	0人	
R4年度目標KPI値【累計】 (3か年度分の合計)	800人	17件	1,550人	180人	
KPI増加分の実績値【累計】 (達成度%)	338人(42.2%)	7件(41.1%)	89人(5.7%)	251人(139.4%)	
内訳	R2年度増加分	98人	2件	63人	41人
	R3年度増加分	240人	5件	26人	210人
	R4年度増加分	-	-	-	-
目標年月	令和5年3月	令和5年3月	令和5年3月	令和5年3月	
取り組みの評価	<p>海苔すき体験などの本市伝統産業に触れるまちづくり事業を展開したほか、定期開催している冬花火に合わせ、花火や工場夜景等を鑑賞できるナイトクルージングツアーを開催しました。</p> <p>これらにより、市民に地域資源の魅力を周知することができ、既存イベントとの相乗効果による地域ブランディングに取り組みました。</p>	<p>新たなアクティビティとして、「きさらづCAMP」を試験的に10月から開設しました。</p> <p>また、里山や里海の資源を活かし、SDGsを意識した教育旅行商品を開発しました。</p> <p>これらのコンテンツ造成により、既存の観光資源を有効活用することで誘客促進を図ることができました。</p>	<p>市内事業者等と連携し、飲食店で好きな音楽を聴きながら珈琲を味わうことのできる新しいスタイルのイベントを開催することで、「食」を通じた新たなターゲット層の顧客誘致につながりました。</p>	<p>自転車とスマートフォンだけで誰でも楽しむことのできるデジタルサイクルスタンプラリーを実施しました。気軽に参加でき、話題性のあるデジタルスタンプを導入し、魅力ある飲食店などと連携したことで、集客につなげることができました。</p>	
今後の方針	<p>地域住民に「木更津」の歴史や自然を再認識してもらうことで、シビックプライドの醸成につなげ、魅力あるまちづくり事業への関心を高める機運醸成につなげます。</p>	<p>本市の里山・里海を活用した様々なターゲット層へ向けたコンテンツを造成・販売することで、関係人口の創出が期待できるためです。</p>	<p>「食」に焦点を当て魅力発信・商品販売を行うことで、「オーガニックシティ」としてのブランディングにより関係人口創出を図ります。</p>	<p>サイクリングを通して地域事業者や周辺地域と連携を図ることで、まちづくり事業への関心を高め、関係人口の創出を図ります。</p>	

3. 「人と地域をスポーツで繋ぐ」中郷中学校跡地活用プロジェクト

[事業について]

<p>概要</p>	<p>木更津市立旧中郷中学校については、本市の中心地から離れているものの、最寄りに高速道路インターチェンジがあり、大規模な屋内運動場等を有しています。</p> <p>これまでに旧中郷中学校においては、地域住民で組織するバレーボールやバスケットボールなどの団体へ施設の開放を行うなど、地域のスポーツ交流拠点の場として一役を担っていました。</p> <p>しかしながら、中郷地区については、少子高齢化の影響により人口減少が進行しており、旧中郷中学校の生徒数においても年々減少が進んでいる状況でした。</p> <p>そのような中、市内小中学校の規模見直しを行った結果、平成31年3月末に旧中郷中学校の廃校が決定したことにより、地域住民への施設開放も廃止されたことから、地域住民が身近にスポーツを親しめる場所がなくなるなど、旧中郷中学校の跡地活用は喫緊の課題となっていました。</p> <p>このことから、スポーツを中心とした地域の活性化やコミュニティ機能の維持及び向上に資する有効活用を図るため、旧中郷中学校跡地活用事業として『スポーツクラブ事業』を行うものです。</p> <p>本事業については、主に4つの取組から構成されており、県内外のスポーツ関係団体に向けた『宿泊事業』、本市をホームタウンとする社会人サッカーチーム拠点施設の整備やスポーツ教室の開催を行う『スポーツクラブ事業』、グラウンドや屋内運動場等の貸付を行う『施設貸出事業』、カフェの整備やオリジナルのスポーツグッズの販売等を行う『飲食・物販事業』となっています。</p>
<p>計画期間</p>	<p>令和3年度から令和5年度までの3年間</p>

[指標について]

指標		指標①	指標②	指標③
		地域住民向け スポーツ教室開催回数(年間)	地域住民向け スポーツ教室参加人数(年間)	旧中郷中学校への 宿泊者人数(年間)
R2年度のKPI値 (事業開始前)		0回	0人	0人
目標KPI値【単年度】		3回	240人	12,000人
KPI増加分の実績値【累計】 (達成度%)		3回(100%)	126人(52.5%)	0人(0%)
内訳	R3年度増加分	3回	126人	0人
	R4年度増加分	-	-	-
	R5年度増加分	-	-	-
目標年月		令和6年3月	令和6年3月	令和6年3月
取り組みの評価		<p>スポーツ教室を開催するため、SNSを活用した積極的な情報発信に努めるとともに、魅力的なスポーツ教室プログラムの作成を行いました。</p> <p>また、本事業のコンセプトに沿った『地域貢献したい方』を運営スタッフとして雇用し、ローヴァーズ木更津FCの所属選手が運営スタッフとしても活動するなど、効果的かつ効率的な人材確保を図りました。</p> <p>なお、スポーツ教室の開催により、木更津市の認知度向上を図るとともに、多くの方々に木更津市の魅力を発信することができました。</p> <p>加えて、地域貢献の希望ある運営スタッフを多く採用するなど、積極的な雇用創出を図り、地域経済の活性化に寄与することができました。</p>	<p>元プロサッカー選手のカレン・ロバートさんや、元女子サッカー選手の山根恵里奈さんをスポーツ教室にゲストとして招き、集客力の向上を図ったことから、より多くの参加人数の実績を残すことができました。</p> <p>なお、スポーツ教室の参加をきっかけに、多くの参加者が地元商店街や市内の観光名所を訪問するなど、まちの回遊性を高めることができ、地域振興に寄与することができました。</p> <p>また、地元シニア世代の方々と若い世代を中心とした多様な人材との間で交流が深まったことにより、中郷地区における新たな賑わいが創出、コミュニティ機能の維持及び向上を図ることができました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等により、当初計画に変更が発生し、宿泊施設の供用開始に遅れが生じている状況となっています。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策を講じた宿泊施設を考案し、補助対象となる補助金の交付を受けるなど、円滑な資金調達を図ることができたことなどから、既に宿泊施設改修工事に着手しており、令和4年7月の供用開始を予定しています。</p> <p>加えて、主に全国の部活動強豪校を対象とした事前アンケート調査を実施し、利用者ニーズを把握するとともに、当該施設の魅力について幅広く情報発信したことから、当該施設への関心をより一層高めることができ、さらには供用開始前に当該施設に係る使用申込みを受け付けることができました。</p>
今後の方針		<p>より良い環境かつ数多くのスポーツ教室を開催することができるよう、ローヴァーズドリームフィールド(サッカーグラウンド)や屋内運動場などの適切な維持管理や整備等を行うとともに、併せて本事業のコンセプトに沿った人材を確保するため、運営スタッフの継続的な雇用や新規採用を働きかけていきます。</p> <p>数多くのスポーツ教室の開催に伴い、多くの方々へ木更津市の魅力を伝えることができ、さらには雇用創出を図ることができることから、引き続き地域経済の活性化に寄与することが期待できます。</p>	<p>引き続き、元プロサッカー選手のカレン・ロバートさんなどをスポーツ教室にゲストとして招くことにより、集客力の向上を図るとともに、ローヴァーズ木更津FCの所属選手を様々な場所にコーチとして派遣する『コーチ派遣事業』を新たに実施するなどし、幅広い情報発信も行っていきます。</p> <p>それにより、多くの方々からスポーツ教室の参加を期待できるとともに、スポーツ教室の参加をきっかけとし、多くの参加者が地元商店街や観光名所を訪れるなど、様々な分野において地域振興が図られることが期待できます。</p> <p>加えて、地元住民と参加者や事業関係者等との間で多様な交流が深まることにより、地域住民のコミュニティ機能の維持及び向上にも寄与します。</p>	<p>宿泊施設の整備を行うことにより、県内の利用者をはじめ、県外からも多くのスポーツ関係者がスポーツ関連施設を利用できるようになることから、市内におけるスポーツ関係者の滞在人数の増加を図ることができます。</p> <p>多くのスポーツ関係者が宿泊施設を利用し、市内におけるスポーツ関係者の滞在人数の増加が図られることにより、千葉県内における有数のスポーツ交流拠点の場として、多くの方々から関心を得られるなど、来訪者の増加が見込まれるとともに、より一層の賑わいの創出が図られることが期待できます。</p>